

教科・分野	週時間数	クラス	生徒数	担当者
美術・工芸	1	A～C	112	森 茂 樹
目 標	著しい心身の発達が見られる時期の生徒たちに、内面的な充実を感じさせ、創造することの喜びを通じて、人間形成の深化を図る。			
大切に育てたいもの	1. 造形的な創造活動の能力を伸ばすことを大切にしています。 2. 創造することの喜びを感じることを大切にしています。 3. 美術を愛好する心情を育んでいくことを大切にしています。			

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	期末	ポスターの制作 新鮮なアイデア、イラストレーション、コピーライトを考案して、みてわかりやすい美しいポスターを制作する。	1. ポスターの役割や表現について学習し、何をメッセージとして伝達するのかをまとめて発表できるようにする。 2. テーマにそった資料を収集し、アイデアスケッチを繰り返し描いて構想を具体化できるようにする。 3. 文案を決定し、表現技法とデザインとが決まったら最終的なレイアウト（画面構成）をする。 4. 表現技法を工夫し、手順にそって制作する。 5. 完成した作品を互いに鑑賞する。
二学期	期末	ボックスアートを制作する 心にうかぶイメージを箱の中に詰め込み、自分だけの世界を創ることの喜びを体験する。	1. 具象的な表現から抽象的な表現に変わっていった前衛的な芸術家たちの表現の試みと可能性について理解を深める。 2. 作品制作のねらいとコラージュの技法を理解して、制作に必要な材料を収集する。 3. 自作の詩を作品に添える。もの（作品）と言葉が共鳴するような作品に仕上げ、互いに鑑賞する。
三学期	期末	世界の民芸品「マトリョーシカを」つくる 人の思いがこもった作品には手仕事のぬくもりが感じられる。そんな手づくりのよさを知り、心のこもった作品づくりを体験する。	1. ロシアの民芸品「マトリョーシカ」を題材にして、その特徴を活かしたデザインを考案する。 2. 入れ子人形を教材にしてアクリル絵の具で彩色して仕上げる。 3. 完成作品を互いに鑑賞する。

価 の 方 法	授業で制作した作品評価と期末試験での得点
学習活動の特徴	市販品は使わず、オリジナルに開発した教材を使用している。
授 業 の 形 態	実習およびスライドを使った作品鑑賞
使用教科書	美術2・3上 美を求めて 日本文教出版
使用副教材	美術資料（秀学社） 美の世界（浜島書店） レタリング資料（正進社）
用意するもの	美術セット
備 考	